

藤中だより 1月号

平成27年1月30日
京都市立藤森中学校
ホームページアドレス
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/fujinomori-c/>
Eメールアドレス
fujinomori-c@edu.city.kyoto.jp

「あいさつ」・「時間」・「授業」の大切さを再確認しよう！

61年ぶりという大雪で明けた2015年。来週には立春を迎えますが、まだ厳寒の候だけあって、寒い日が続いています。平成26年度も残り2か月と考えるなかれ。3年生は入試の日や卒業式を入れても、実質29日しか登校する日がありません。...ということは、そろそろ学年の総まとめ・振り返りの時期だということです。



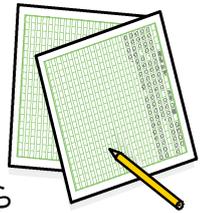
さて、昨年4月の始業式に校長先生がおっしゃった「あいさつ」・「時間」・「授業」の行動目標、どれだけ達成できたでしょうか？今一度、この行動目標がもつ意味を考えてみましょう。あたりまえに大切だとされていることからの重要さは、かえって見えづらことがあります。そんなときは逆を考えてみるといい。つまり、この3つをすべて否定した毎日を想像してください。誰一人あいさつはしない、時間は守らない、授業も真剣に取り組んでいない...。それ以外は今まで通りです。...どうですか？そんな毎日、そんな学校生活...。家庭生活も学校生活も、過ごせそうにないですね。

「あいさつ」というのは相手を丸ごと受け入れるということ。相手がどんな状態であれ(怒っていても笑っていても)関係なくそのままのあなたを受け入れますよという表現。「おはよう！」や「バイバイ！」といったあいさつは人を大切に基本行動なんですね。つまり、「あなたのことを丸ごと大切にしますよ！」のしるしが「あいさつ」なんです。



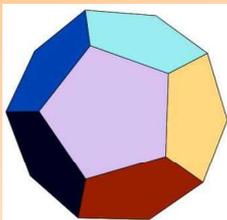
一方、「時間」はどうでしょう。遠い宇宙でたった一人、孤独な生活をしているならともかく、この地球の上であたりまえの生活を送るためには、「時間を守る」ことが必要不可欠です。いや、必要というより「時間」の共通認識がないと、生活そのものが成り立ちません。夜中の2時に「早く学校へ行こう！」と友だちが誘いに来たり、先生の都合でいつ始まるかわからない授業などやってられません。どうですか？多少の遅れがあったとしても、「時間」を守っているからこそ私たちは社会の中で生きることができるのです。つまり、「わたしのことを信頼してもらっていいですよ。もちろん、あなたのこともこの社会も大切にしますよ！」というメッセージが「時間を守る」ということなんです。

3つめの「授業」は...？ そうです。授業に一生懸命に取り組むことは自分を鍛(きた)え成長させることになる。自分が成長することで、結果として「楽しい」と感じる...。「楽しい」と感ずることで、なおいつそう授業に集中する...。そうやって自分の夢の実現に一步步近づいていく。「幸せ」になっていく...。「叱(しか)られるから、注意されるから楽しくないんだ」などと言ってはいけませんよ。極端な話、一年間先生にしゅっちゅう叱られたけど、それで成長できたのなら「いい一年だった」ということなんです。「叱られたから楽しくない。成長していない。」などと短絡的にとらえることは、かえって成長の妨(さまた)げになります。思い切ってぶつかっていくこと。そう、校長先生が常におっしゃっているように『一生懸命はかっこいい！』のです。



このように、『あいさつ・時間・授業』の3つの実行は、「一人ひとりの仲間を大切に、社会を信じ創り上げ、かつ自分自身をより幸せに、喜びあふれる毎日にする魔法の言葉」なのです。

んっ？「今から頑張っても遅いし...」などとつぶやいている、そのあなたっ！この3つの行動目標には「遅い」も「早い」もありません。「やるか、やらないか」なのです。ですから、できていなかった人は「今」「ここから」始めれば、それでいいのです。



人間は「多面体」と同じ。今はこの面が前にしているだけ。

人には実にさまざまな側面がある。「黙々と作業する姿」「リラックスしてお喋りする姿」「こぼれ出るように笑う姿」「エッペンと誇らしげな姿」「優しく人に教える姿」「教えられる姿」「戦う姿」「追究し考える姿」など...。一人の人間には、数えきれないほどの姿(側面)がある。

面接練習をしていて、ふと気になったことがあった。それは「消極的なところを直していきたい...」といった内容の言葉。そのとき頭をよぎったのは「責任ある消極性」と「無責任な積極性」という2つの言葉。子どもを見るときには「責任ある消極性」をもった生徒にスポットが当たるように心がけなさいと教えられたことを思い出す。

上のように人間は多面体と同じ。ちょっと踏ん張るだけどころと面が変わります。「自分だけが...」ってことなんてありっこない。みんないろんな面をもつ。そんな、いろいろな自分でいいのです。消極性という面を消そうと考えないこと。良い面を磨くだけでいいんだ！



3年生 学年末テスト・面接練習も終了！ いよいよ入試本番へ！

3年生は21日(水)から中学校最後の定期テストに取り組みました。シンとした教室の中、ただひたすら問題に取り組む生徒たち…。3年生を担当する先生たちは、そんな懸命な姿に、藤中での3年間の成長を感じていたのではないのでしょうか。テストの返却も終わり、面接練習も今日で終了。いよいよ入学試験の本番を迎えます。

2月に入ると、まずは私立高校の受験。そして、公立高校の前期選抜と大きな山場を迎えます。休み時間や放課後に、先生にわからないところを教えてもらっている人も増えています。「先生、どうしよう。分からん…。」どれだけやっても不安で不安でしかたない。それが、受験(勉強)なのです。やればやるほど、足りないところが見えてくる…。

恐くない人なんていないでしょう。他人の心は見えないもの。見えないからこそ、他の人は余裕があるように見えて、「自分だけダメなんじゃないか。」って思ってしまう、ますます不安になる。そうするともう、緊張は最高潮に達してしまいます。ですが、考えてみてください。周りの人々も自分と同じように不安であったり、悩んでいたりするんですよ。ただ、不安や悩みの表し方が違うから、わからないだけ…。不安じゃない人なんて、一人もいない。そう、みんなとても不安なんです！なくそうと思っても不安はなくなる。それならむしろ不安に思うのは当然で、それが正直な今の自分の心。不安... それでいいんです。

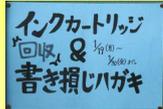


書き損じハガキ・使用済みインクカートリッジ回収中！

現在、藤森中学校生徒会では「書き損じハガキ」と「使用済みインクカートリッジ」の回収ボランティア活動を実施中です。書き損じハガキ



はテラ・ルネッサンスというNPO団体を通じて切手に交換され、インクカートリッジもリサイクル業者とのやり取りでお金に換え、さまざまな活動に使われます。ハガキは1,000枚、インクカートリッジは500



個が目標となっているようです。子どもたちの取り組みが、目標の数値を超え、達成感のあるものとなるよう、保護者の皆さまや地域の皆さまのご協力をお願いいたします。また、未使用のハガキや切手なども歓迎です！来週にでもお子様を通じて、または直接学校までお持ちいただ



ければ幸いです。

お願い

第20回 ふしみ人権の集い



2月7日(土)13:30より、京都パルスプラザの稲盛ホールにて、第20回「ふしみ人権の集い」が開催されます。このステージでは毎年、地域の女性コーラスによって、「竹田の子守唄」(元唄)が歌われています。

藤森中学校でも毎年、1年生の時に「竹田の子守唄」を題材として、地域のこと、人権のことについて学び、考え、歌うという取り組みを続けてきました。今年の「人権の集い」では、藤森中の有志も共にステージに立つことになりました。第1部(13:30~14:10)で「人権の集い」20周年の歩みを、藤森中の人権学習の取り組みと共に振り返り、人を大切にする気持ちを「歌うこと」で発信したいと思います。ぜひ、ご観覧下さい。

また、中学校の体育館で行う各学年の「人権学習発表会」にも、ぜひ足を運びください。(日程は下記を参照ください)



2月のおもな予定

- 2日(月) PTA実行委員会
藤森WEEK(~2/6)
[完全下校 17:30に]
- 7日(土)「ふしみ人権の集い」13:30~
京都パルスプラザ
- 9日(月) 入試事前指導(3年生 6限)
- 10日(火) 京阪神 私学入試①
- 11日(水) 京阪神 私学入試②
- 12日(木) **1年 人権学習発表会(5・6限)**

「人権学習発表会」
ぜひぜひみなさまの
ご観覧をお願いします！

- 13日(金) **2年 人権学習発表会(5・6限)**
評議・各種委員会
- 15日(日) 京都マラソン
- 16日(月) 公立高校 前期選抜①
- 17日(火) 公立高校 前期選抜②
- 18日(水) 1, 2年 テスト1週間前
- 19日(木) **3年 人権学習発表会(6限)**
- 20日(金) 公立高校 前期選抜 合格発表
- 25日(水) 1, 2年 学年末テスト(~27日)

